

目撃リポート特集 ● ニッポンの戦略

金 御家芸 土 見所 水 原動力 水 素顔  
バルサ流電磁波で体操団体12年ぶり金だ

温熱治療機器

体操日本代表が、リオ五輪イヤーの今季から温熱治療機器「インディバ・アクティブ」を導入した。微弱な電磁波を体内へ流して組織の修復を促し、けが予防や負傷部位の早期回復に効果がある。男子12年ぶり団体制覇など、五輪ではメダル量産が期待される体操ニッポンを最新鋭のコンディショニング機器が後方支援する。

けが予防

体操ニッポンがコンディショニング改革で再び栄冠を目指す。今年初めに都内の練習拠点に温熱治療器「インディバ・アクティブ」を導入した。男子代表の小林直行トレーナー(40)は「これまではこういう機

器を使うこと自体がなかった。現在は痛みをとったり、けがを治すのに使っている。今後使



INDIBA activ  
体操男子代表が導入した温熱治療器「インディバ・アクティブ」(インディバ・ジャパン提供)

方も増やしていけばいい」と明かした。

電極を直接体に当てて微弱な電磁波を流し、体組織修復を促すメカニズム。通常で全治1か月の骨折や筋肉のけがが、約半分の2週間程度で回復した例もあるという。現代の体操は技の高度化が顕著だ。常に負傷リスクと隣り合わせだけに、早期回復や大けがの未然防止は欠かせない。小林トレーナーは「肩や腰が痛いという場合などに、体の深部は手技ではアプローチしにくい場合がある。そういう時にインディバが効くな、という実感がある」。徳洲会や順大所属選手を中心に「オイルマッサージのような感じで気持ちいい」と好評だ。

「インディバ・アクティブ」

は約25年前にスペインで開発され、サッカーではスペイン1部・バルセロナが愛用。テニスの4大会・全仏オープンで史上最多9勝を挙げたラファエル・ナダル(30)もスペインでも10年以上使うなど、欧州スポーツ界でも欠かせない治療器として活躍している。販売代理店インディバ・ジャパンの山口祐司会長は「日本の体操は世界でも強豪。けがをせず、良い結果が出るのにつなぐれば」と期待した。

(細野 友司)

あすは競泳 北島の後継者・渡辺一平